

第4章 産業経済

第1節 農 林 業

1 農業委員会

本委員会は19人（定員19人）の農業委員で構成され、月1回（年12回）の定例総会を開催し、農地法の規定による届出書、許可申請書等の審査及び農業に関する諸問題を協議した。

また、22人（定員22人）の農地利用最適化推進委員が農地の集積、集約化の推進を図るため現場主導の委員として活動した。

また、広報活動として「農業委員会だより」を3回発行した。

(1) 主な委員会活動

ア 農地法にかかる許認可事務

イ 農業経営基盤強化促進法に基づく経営規模拡大のための農地利用集積の推進

ウ 農地法に基づく無断転用防止対策及び指導並びに遊休農地解消対策に基づく農地パトロールの実施

エ 農業者年金加入推進及び給付手続並びに受給者現況届出事務

(2) 農地法に関連した申請

項 目		件 数	面 積			
			田	畑	計	
農地法第3条	許 可	所 有 権 移 転	13 ^件	449.5 ^{アール}	254.8 ^{アール}	704.3 ^{アール}
		使用貸借・賃貸借権設定	6		132.4	132.4
		生前一括贈与	4	0.6	94.8	95.4
第4条	届 出	66	91.7	124.7	216.4	
	許 可	18	66.5	46.7	113.2	
第5条	届 出	150	182.0	454.6	636.6	
	許 可	44	245.7	189.3	435.0	
小 計		301	1,036.0	1,297.3	2,333.3	

項 目	件 数	面 積		
		田	畑	計
計 画 変 更	件	アール	アール	アール
農業経営基盤強化促進法による計画申請	171	1,029.5	3,495.3	4,524.8
非農地現況証明	4		22.0	22.0
農地法第18条第6項の通知	4	12.3	61.9	74.2
買受適格者証明（競売）	1		1.3	1.3
相続税・贈与税の納税猶予制度にかかわる適格者証明	1		18.5	18.5
農地法関係証明	122	—	—	—
農地転用事実確認証明	22	—	—	—
国有農地管理事務取扱	18		28.5	28.5
小 計	343	1,041.8	3,627.5	4,669.3
合 計	644	2,077.8	4,924.8	7,002.6

(3) 農業者年金の状況（令和2年3月31日現在）

新農業者年金被保険者 9人

旧農業者年金被保険者 12人

農業者年金受給者 249人

2 農業振興事業

従事者の高齢化、後継者不足、荒廃農地の増加などの厳しい環境の中で、農業振興を図るため、認定農業者制度や農地利用集積を推進することで、意欲ある農家の育成に努めるとともに、中山間地域における荒廃農地の発生を防止し、農地の多面的機能を確保するため、中山間地域等直接支払制度による補助等を実施した。また、アグリオープンイノベーション機構と共催で市場のニーズを学ぶための「農業経営者座談会」を開催した。

さらに、学校給食における地場産品の利用促進や、地元の食材の生産過程や生産者の苦勞などを学ぶ「食育DAYキャンプinぬまづ」や「食育体験ツアー」、「沼津Local Food Meeting」、「高校生による沼津の地産地消メニューコンテスト」を実施するなど地産地消に取り組んだ。

事業名	事業費	補助金	概要
中山間地域等直接 支払制度実施事業	19,543 千円	19,422 千円	集落協定 9集落
地産地消総合推進事業	3,752	2,510	<ul style="list-style-type: none"> 沼津農林まつり開催 高校生による沼津の地産地消メニューコンテスト ほか
沼津の農産物振興事業	2,566	2,566	<ul style="list-style-type: none"> 沼津茶消費拡大推進事業 みかん品種転換促進事業 ほか

3 林業振興推進対策事業

森林の有する多面的機能が持続的に発揮される森林整備を推進した。

香貫山、千本松原、戸田生活環境保全林は保安林としての機能維持、さらには生活環境保全機能を有した森林として、市民の保健・文化・教育的な利用に供することを目的に管理を実施した。また、造林、間伐等林業事業を実施している戸田森林組合に対し、補助を行った。

さらに、森林整備及びその促進のため、森林環境譲与税を活用し、沼津市森林環境整備促進基金を創設した。

4 林道整備事業

森林資源の保全と林業振興を図るため、林道整備事業を実施した。

区分	事業費	概要
林道整備事業	15,923 千円	林道空洞線改良工事 146.6m ほか

5 松の材線虫防除事業

松の材線虫による被害の拡大を防止するため、松林の枯損木の除去、薬剤散布等を実施した。

事業費	35,899千円	
地上散布	千本松原ほか	延べ230.6ha
薬剤樹幹注入	千本浜公園ほか	3,185本
枯損木除去	31.5 m ³	

6 有害鳥獣等対策事業

野生鳥獣による農林業被害に対し、沼津市鳥獣被害防止計画に基づき、有害鳥獣捕獲を実施するとともに、沼津市鳥獣被害対策実施隊による、実効性の高い被害防止対策を行った。

また、有害鳥獣による農作物の被害を防止するため、有害鳥獣防護柵等の設置に係る補助を行うとともに、狩猟免許の取得に係る補助を行った。

7 畜産振興事業

畜産業に起因する環境問題対策を推進するため、死亡獣畜処理事業及び畜舎一斉防除事業に対する補助を行ったほか、畜産物の安全性確保のため、自衛防疫事業を実施した。

(1) 畜産業振興推進対策事業

事業名	事業主体	補助金	概要
死亡獣畜処理事業	畜産農家	183 ^{千円}	成子牛 12頭 牛 4頭
畜舎一斉防除事業	南駿農業協同組合	250	受益農家数 8戸

(2) 自衛防疫事業

(単位 頭)

家畜種類	内容	実施数
牛	流行熱・イバラキ病混合予防注射	74
牛	異常産3種（アカバネ病含む）混合予防注射	74
牛	伝染性鼻気管炎6種混合予防注射	93
牛	牛下痢5種混合予防注射	30
豚	日本脳炎・パルボ混合予防注射	20
計		291

第2節 土地改良事業

農業基盤整備により生産性の向上を図り、農業経営の安定に資するため、国及び県の補助事業、市の単独事業等を実施した。

1 国補助事業

区 分	工 種	事 業 費	概 要
団体営ため池等 整備事業	ため池	1,298 ^{千円}	沼川水門扉体撤去工事 一式

2 県補助事業

区 分	工 種	事 業 費	概 要
県単独土地改良事業	農 道	22,341 ^{千円}	施工延長 121.5m

3 市単独事業

区 分	工 種	事 業 費	概 要	
改 良	農 道 浚 渫	3,750 ^{千円}	施工延長 35.8m	
		2,992	施工延長 170.0m	
維 持 補 修	農 道 水 路 浚 渫 ポンプ・ 水 門 その他	9,691	井田地内用水路浚渫工事ほか 75件	
		4,660		
		4,012		
		2,073		
工 事 材 料 支 給	農 道 水 路	12,132	生 コ ン 砕 石 ・ R B 材 アスファルト合材	
		9,531		101.3m ³
				911.0m ³
				56.5 t ほか
そ の 他	そ の 他	3,725	委託、負担金、補助金 ほか	

4 県 営 事 業

区 分	事 業 費	負担金等	概 要
県単独農業農村整備調査事業	千円 4,000	千円 2,000	愛鷹地区、西浦みかん江梨西部地区
畑地帯総合整備事業	922,000	184,400	重須地区 西浦みかん（江梨、東部、足保久料、立保古宇）地区
ため池等整備事業	63,000	958	沼田新田地区
水利施設整備事業	153,400	18,043	大平徳倉排水機場、浮島排水機場
中山間地域総合整備事業	136,000	20,400	戸田饗の里
地域用水環境整備事業	16,635	198	灰塚地区

第3節 水 産 業

水産業の活性化と振興を図るため、出漁促進事業などへの補助及び漁港施設の整備事業を実施した。

1 水産業振興事業

事業名	事業主体	事業費	概要
漁業近代化資金 利子補給事業	静岡県信用漁業協同組合連合会 (沼津支所)	千円 3,932	利子補給 31件
水産物流通 促進事業	沼津魚市場株式会社	3,061	水揚奨励
出漁促進事業	沼津魚市場株式会社 静岡漁業協同組合	10,129 753	出漁奨励

2 漁港施設整備事業

(1) 県営漁港事業

事業名	事業費	負担金	概要
静岡漁港整備事業	千円 138,192	千円 28,997	水産物供給基盤機能保全事業 馬込岸壁長寿命化工事 ほか 水産物供給基盤機能増進事業 志下沖防波標識灯更新工事 県単独事業 江浦護岸消波ブロック設置工事
戸田漁港整備事業	8,712	1,971	水産物供給基盤機能保全事業 大浦岸壁渡版改修工事 県単独事業 大浦岸壁・御浜物揚場照明灯設置 工事

(2) 市営漁港事業

事業名	事業費	概要
漁港維持事業	3,032 ^{千円}	井田漁港河口浚渫工事 ほか
市営漁港機能保全事業	54,694	水産物供給基盤機能保全事業 木負3号船揚場改修工事 ほか 重須1号物揚場護岸改修工事 ほか

第4節 商 工 業

1 中小企業金融対策事業

中小企業の健全な育成に資するため、その事業活動に必要な資金を貸し付けた金融機関等に利子補給金を交付し、事業資金の融資の円滑化を図った。

制度名	利子補給額	年度中貸付実行		年度末貸付残高	
		件数	金額	件数	金額
小口資金利子補給	13,548,574 ^円	168 ^件	637,260,000 ^円	623 ^件	1,254,850,600 ^円
近代化資金等利子補給	842,465			21	190,078,000
短期経営改善資金利子補給	1,663,053	170	1,024,488,000	68	399,104,000
計	16,054,092	338	1,661,748,000	712	1,844,032,600

○小規模事業者経営改善資金（マル経融資）利子補給

沼津商工会議所又は沼津市商工会の推薦を受け、日本政策金融公庫から小規模事業者経営改善資金（マル経融資）を借り受けた市内小規模事業者に対し、利子補給を行った。

補給件数 55件 補給額 1,333,955円

○開業パワーアップ支援資金等利子補給

静岡県が実施する開業パワーアップ支援資金又は日本政策金融公庫が実施する新創業融

資制度による資金を借り受けた創業者に対し、利子補給を行った。

補給件数 14件 補給額 393,637円

2 商工業振興事業

商工業の振興を図るため、中心市街地でのイベント開催や企業誘致など商工業の活性化を目的とした事業を推進するとともに、各種商工業団体への支援を実施した。

(1) 商業振興事業

事業名	事業内容
まちなか賑わい創生事業	各種団体等が市街地エリアで行うイベント等の補助を行う「まちなか賑わい委員会」の運営を支援した。
沼津自慢フェスタ開催事業	沼津の誇るべき物産や食文化、音楽などを一堂に集めたイベント「沼津自慢フェスタ2019」の開催を支援した。
沼津まちあるきステーション運営事業	ウォーキングやランニングイベント等を通じた狩野川の水辺空間におけるにぎわいづくり及び沼津の自然などの様々な魅力を発信する「沼津ランニング&スキルズステーション」を運営した。
狩野川にぎわい創出事業	「沼津上土町周辺狩野川河川空間利用調整協議会」と連携し、上土町周辺の狩野川右岸階段堤の利用促進に向けた取り組みとして、「水辺のステージ」などのにぎわい事業や情報発信等を行った。
ぬまづまちあるきマップ推進事業	中心市街地と沼津港のまちあるきを楽しむため、親しみのもてる手書き地図を配架し、webでも閲覧可能とするとともに、地図を印刷したブックカバーを作成した。
ぬまづ未来Talk実施事業	行政と若手事業者等で定期的に意見交換会を開催し、公民連携によるまちづくりの推進を図った。
商工会議所青年部全国大会開催支援事業	日本商工会議所青年部が主催する「第39回全国大会ふじのくに静岡ぬまづ大会」の開催を支援し、地域経済の活性化を図った。
沼津中央通り商店会街路灯改修支援事業	沼津中央通り商店会管内にある既存の照明器具を撤去し、新たにLED照明灯を設置する改修工事を支援した。

(2) 工業振興事業

事業名	事業内容
ロボット工作教室事業	小学生から高校生までを対象とした自律移動ロボットの製作や制御プログラミングの講座開催等を支援した。
伝統技能体験事業	大工、左官、板金などの伝統技能の披露及び子どもを対象としたものづくり体験を行った。

(3) 起業創業支援事業

事業名	事業内容
中小企業支援センター運営事業	創業や経営改善のサポートを目的に専任のコーディネーターを配置し、指導や情報提供などを行う沼津地域中小企業支援センターの運営を支援した。
知的財産活用事業	企業の技術移転や特許活用を促すため、知財活用コーディネーターを配置し、知的財産権にかかる相談対応や情報提供を行う取り組みを支援した。
ニュービジネス創出事業	中小企業が「経営革新計画」に基づいて行う新技術や新サービスの開発等に要する経費の一部を支援した。
学術機関研究開発支援事業	沼津工業高等専門学校などによる研究成果や開発技術の紹介、地域企業等による展示などの開催を支援した。
中小企業販路開拓支援事業	中小企業に対し、新製品の展示会出展に要する経費の一部を支援した。
まちなか起業支援事業	まちなかにおける医療・福祉・教育・文化・商業といった居住を支えるサービスの起業を促進するため、起業を志す女性を対象に、有用な知識やスキルを学ぶセミナーを開催した。 また、地元企業への就職、Uターン就職や地元起業を考えるきっかけづくりを図るため、高校生を対象に、企業訪問とマーケティングやプレゼン手法などビジネスの基本を学ぶ講座を開催した。
チャレンジオフィス推進事業	民間のコワーキングスペースを活用し、起業を志す人や起業して間もない人の人的交流と成長のきっかけとなる場所を提供するとともに、それぞれのニーズに沿ったセミナーを開催した。

(4) 企業立地促進事業

事業名	事業内容
中小企業設備投資促進事業費補助	建物の増築と機械設備の導入を行い雇用を拡大した企業に対し、補助金を交付した。 補助件数 1件 補助額 9,035,000円
ITオフィス等進出事業費補助	市内に新たに賃借によりITオフィス等を開設した企業に対し、補助金を交付した。 補助件数 4件 補助額 3,270,000円
工業用地開発調査	足高地区の工業用地の開発可能性を調査するため、電気探査及び希少野生生物調査を行った。

(5) イーラde管理運営事業

イーラde（大手町地区再開発ビル）の市保有床（商業床・駐車場床）の財産運用収入を財源に、沼津駅周辺総合整備基金への繰出しや保有床の管理運営に係る経費等を負担した。

(6) 各種商工業団体補助金

(単位 千円)

交付件名	交付先	金額
沼津商工会議所運営費補助金	沼津商工会議所	6,840
沼津市商工会運営費補助金	沼津市商工会	5,130
沼津市商店街連盟運営費補助金	沼津市商店街連盟	2,078
沼津中小企業相談所運営費補助金	沼津商工会議所	2,078
沼津市物産振興事業費補助金	沼津市物産振興協議会	1,500
その他の補助金	4件	1,431

(7) プレミアム付商品券発行事業

消費税・地方消費税の引き上げによる低所得者・子育て世帯の消費への影響を緩和するとともに、地域における消費を喚起・下支えするため、低所得者・子育て世帯主向けのプレミアム付商品券の発行・販売等の事業を行った。

第5節 労働

1 技能功労者表彰

55歳以上で30年以上同一職業に従事し、現在も第一線で活躍している技能優秀かつ後進の育成など、功労顕著な技能者の第44回表彰を行った。

○表彰職種 建築大工職ほか15職種

○被表彰者 27人

2 勤労者教育資金利子補給事業

勤労者の経済的負担を軽減するため、勤労者が静岡県労働金庫から借り受けた子弟の大学等への就学資金に対し、その利子の一部を補給した。

○補給件数 413件

○補給額 2,675,470円

3 勤労者住宅建設資金利子補給事業

勤労者の住宅取得を支援するため、勤労者が静岡県労働金庫から借り受けた自家の新築及び増改築資金等に対し、その利子の一部を補給した。

○補給件数 1,910件

○補給額 22,994,673円

4 勤労者育児支援資金利子補給事業

勤労者の育児支援をするため、勤労者が静岡県労働金庫から借り受けた育児休業中の生活費、育児に必要な家具等の購入費用、出産にかかる費用、その他子育てに要する費用に対し、その利子を補給した。

○補給件数 81件

○補給額 438,056円

5 就職支援

市内企業の安定した雇用の確保と、市内外の求職者の市内企業への就労を促進するため、沼津しごと応援サイト「ぬまjob」を運営した。また、若年者や女性の就労支援として、就労支援

員による就職相談やアフターフォローによる早期離職防止など、伴走型支援を行うキャリアデザイン相談センターを設置したほか、若年求職者を対象とした、市内中小企業の参加による合同就職面接会を開催し、雇用のマッチングを図った。

6 奨学金返還支援

学生の市内企業への就職及び本市への定住を促進するため、市内中小企業に就職し、かつ市内に居住した勤労者に対し、日本学生支援機構の奨学金返還金の一部を補助した。

○補助件数 4件

○補助額 220,484円

第6節 にぎわい・観光

都市の活力を高めるための仕掛けとして、市内外に沼津をPRするイベントの開催やアニメとの連携、日常的なにぎわいの創出、人・物・情報の交流促進、豊かな地域資源を活かした観光の振興等により、さらなるまちのにぎわいづくりを推進した。

1 にぎわいづくり

本市の持つ資源を生かし、その魅力を顕在化させるため、まちのにぎわいを高める諸事業を実施した。

- (1) 大瀬まつり、沼津夏まつりなど沼津の個性をアピールする各種イベントの支援により、地域の振興及びにぎわいづくりに向けた「燦々ぬまづ推進事業」を年間を通じて展開した。
- (2) 静岡デスティネーションキャンペーンに併せ、沼津御用邸記念公園において、宮内庁所蔵馬車の展示を行い、観光客の誘致を図った。
- (3) 戸田地区で開催される戸田港まつりなどの特色あるイベントについては、本年度に新設した東京デスクを積極的に活用し、魅力のアピールに努めた。
- (4) 本市を訪れた観光客の利便性を高めるため、三の浦総合案内所、戸田観光協会などに設置している無料Wi-Fiアクセスポイントの維持管理を行った。
- (5) 沼津港の夜の魅力を知ってもらい、訪れてもらうきっかけになることを目的に「沼津港夜のにぎわいイベント」と題して、ナイトヨガやFMぬまづ公開生放送、市民参加型文化発表

会を開催し、にぎわいの仕掛けづくりを行った。

2 観光宣伝

広報ぬまづ、市ホームページ、SNS等による観光情報の提供、観光パンフレットの発行及び旅行雑誌、テレビ、ラジオ、新聞等のマスメディアに加え、東京デスクを活用し、主に首都圏在住在勤者を対象に本市の魅力のアピールに努めた。さらに、旅行事業者向けのサイトを新たに立ち上げ、旬で有用な観光素材を掲載することにより、本市へのツアーの企画を促した。

また、沼津観光案内所1階の改修を行い、観光客が利用しやすい施設づくりを行った。

3 観光行事

第72回沼津夏まつりを、市、商工会議所、商店街連盟、自治会連合会、NPO法人沼津観光協会の協調により実施し、7月28日、29日には狩野川花火大会を開催した。

なお、本年度は「新元号記念パレード」を市内中心部で開催し、沼津夏まつりの一層の盛り上げに努めた。

また、沼津御用邸記念公園において、日本の伝統文化や本市ならではの食材を活用した催しなどを通じて本市の魅力进行PRする「松籟の宴2019」を11月3日から15日までの13日間開催した。本年度は改元にちなみ、改元記念特別公演などを行った。

4 海水浴場

千本浜、島郷、平沢、大瀬、井田、御浜の市内6か所の海水浴場を開設し、千本浜、島郷、大瀬、井田は7月13日から8月18日までの37日間、平沢、御浜は7月13日から8月31日までの50日間、監視所を設置し、水難事故防止と負傷者の救護に努めた。海水浴客数は、6海水浴場で計11万7,370人であった。

5 観光施設

本市を訪れる観光客に観光地等の適切な情報を提供するため、観光案内板の改修を行った。

なお、本年度は大瀬第一公衆便所及び大瀬第二公衆便所の2か所において、洋式化他改修工事を実施した。

また、「我入道の渡し船」は沼津我入道漁業協同組合が、沼津港水門展望施設「びゅうお」はNPO法人沼津観光協会が、「戸田はかま滝オートキャンプ場」は戸田森林組合が、「くるら戸田」は呉竹荘&サン共同事業体が、それぞれ指定管理者として観光施設の管理運営を行った。

6 多目的展示イベント施設

プラサヴェルデ運営共同事業体が、指定管理者として多目的展示イベント施設「キラメッセぬまづ」の管理運営を行った。

7 コンベンションの誘致

国内外の各種コンベンションを誘致し、県東部地域の交流人口の拡大と地域経済や観光産業等の活性化を推進している静岡県東部地域コンベンションビューローの活動を支援した。

8 アスクラロ沼津に対する支援

本市を拠点に活動するJ3所属のプロサッカーチームであるアスクラロ沼津に対し、ホームタウンとして、医師・看護師の派遣、マッチデースポンサーのほか、将来的なスタジアムのあり方を探るための調査を実施するなど、支援を行った。

9 フェンシングのまちづくり

平成31年2月に締結した公益社団法人日本フェンシング協会との包括的な連携協定に基づき、合宿の受入れ、競技の普及・促進に取り組み、8月に日本代表男子エペ合宿、9月下旬から10月上旬にかけて日本・カナダ・ドイツ・フランス4か国の女子フルーレ合同合宿の受入れ支援を行った。12月には、カナダチーム及び日本フルーレチームが、本市で東京2020大会の事前合宿を行うことについて覚書を締結した。

また、フェンシングを活用したスポーツツーリズムの推進のため、フェンシング体験会や各種イベントでのスマートフェンシング体験ブースの出展などを実施し、普及・啓発を図った。

10 サイクルツーリズムの推進

県東部・伊豆地域において東京2020大会の自転車競技が開催されることを踏まえ、サイクリスト誘客のため、スポーツ自転車のレンタル事業や自転車を活用したモニターツアーなどを行った。

また、NUMAZUサイクルステーション静浦東において、BMX等のエクストリーム系スポーツの練習場として、スキルパークを整備するとともに、民間活力により愛鷹運動公園内にMTBパークを開設するなど、サイクルアクティビティの充実を図った。

11 近隣自治体との連携

(1) オリンピック・パラリンピックに向けた取り組み

東京2020大会に向けて、県及び近隣市町と連携した自転車競技や機運醸成を図るイベントの開催、事前合宿の誘致に関する準備、調整作業などを進めた。

(2) 狩野川周辺サイクル事業推進協議会

本市、伊豆市、伊豆の国市の3市で構成し、狩野川周辺のサイクリスト誘客に向けた利活用及び地域振興の推進に取り組んだ。

本年度は、自転車修理工具や休憩場所の提供などを行うバイシクルピットの更なる整備拡大を図るとともに、エリアの魅力を発信し、サイクリストの誘客を図るため、バイシクルピットスタンプラリーなどを行った。

(3) 静岡県東部地域スポーツ産業振興協議会

県東部の20市町、民間企業、産業支援機関等で構成し、スポーツによる地域経済の活性化を目指し、スポーツツーリズム商品の開発やスポーツイベント・合宿誘致活動などの事業に取り組んだ。

本年度は、サイクルスポーツ関連イベントの開催によるサイクルツーリズムの促進などを行った。